

笠置中学校 のルール

2026 年度
生徒指導部

< 1日の流れを確認しよう！ >

◆登校から朝学活終了まで

8:25(厳守) 朝読書(8:25のチャイムまでに座っておきましょう!)

※時間までに荷物を整理して机の上には本のみ準備しましょう。

8:35 朝学活(5分)

※その日の連絡事項や提出物関係など、しっかりと聞きましょう。

↓ 1時間目の準備または更衣や移動 ↓

8:45 1時間目の授業が始まります。

(注)短縮B校時では、朝読書がありません。8:25から朝学活が始まります。

そして、8:35から1時間目です。

(注)貴重品は、登校後すぐ(8:15まで)に職員室の学年の先生に預けましょう。

<こんな時どうしたらいいの?>

◎欠席・遅刻をする場合

→ 8時以降(できるだけ8:15まで)に保護者の方に学校へ連絡してもらいましょう。

◎忘れ物がある場合

→ 職員室に来て、学年の先生に相談しましょう。

◎遅刻をして登校した場合

→必ず職員室に寄り、遅刻して登校したことを伝えてから教室へ行きましょう。

◆授業の受け方

- 中学校は50分授業です。(※短縮A・B校時の時は45分授業)
- 授業開始のチャイムが鳴る前に、学習の用意をして着席しましょう。
☆ベル着・ベル準を意識しましょう。
- 学習の忘れ物があった場合には、事前に教科担当の先生に報告・相談しましょう。
- 机、イス、身だしなみを整えて、しっかりとあいさつをしてから授業を始めましょう。
- 自分で時間を見て、行動しましょう。(チャイムが鳴ってからの行動では遅い)

★授業を大切に!中学校生活の基本です!★

◆休み時間の過ごし方について

- 次の授業の準備をしてから休み時間に入りましょう。
- 移動教室がある場合もあります。時間を見て動きましょう。
- トイレなどにも早めに行っておきましょう。
- 他学年の教室には入らず、用事があるときは、ドアの外から呼びましょう。また、用事のないときは他学年のフロアには行きません。

「走らない」「大声を出さない」「ふざけない」



◆部活動（放課後）について

- 部活動がない場合は速やかに下校しましょう。
(※部活動以外で残る場合は、必ず学年の先生に伝えましょう)
- 更衣(体育の授業や部活動等)は、男子は自分の学年の少人数教室で着替えましょう。
女子は体育館更衣室を使う。1・3年生は線路側(奥)、2年生はグラウンド側(手前)
更衣室に自分の荷物を置いたままにしないようにしましょう。
- 各自カバン等の持ち物は、活動場所に持っていき、自分で管理しましょう。
- 部活動を休む場合、用事で遅れる場合は、必ず顧問の先生に自分で伝えましょう。
- 部活動で使う場所・道具は、部の責任で大切に使いましょう。
- 部活動中は、顧問の先生の指示を聞いて、ケガのないように気をつけて活動しましょう。

◆下校について

- 下校時間(部活動があるとき)
☆1年間を通して、16:45 下校
※部活動がある日でも、短縮校時の日は、下校時間が早まる場合があります。
- 貴重品を預けた人は、下校前に職員室へ取りに行きましょう。
- 通常の下校手段と違う場合は、保護者の方から生徒手帳・電話等で必ず連絡してもらいましょう。
- 下校の途中での寄り道などはせずに家に帰りましょう。また、不審者等にも気をつけましょう。何か困ったことがあった場合は、近くの大人にすぐに助けを求めましょう。
※不審者等の情報は、まず警察、そして学校に連絡をしましょう。

◆給食

□ 4時間目終了後

- ① 給食当番は手洗い・消毒をし、白衣・マスクを着用して、配ぜん室に給食を取りにいきましょう。

配ぜん室に行く時から、配ぜんが終わるまで白衣・マスクを着用しましょう。

(※ 白衣・マスクを着用していないと、配ぜん室に入れません!)

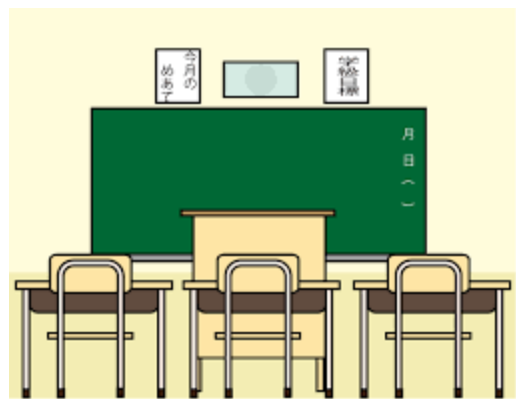
【白衣について】

- ・白衣はその週の当番の間、同じ番号のものを使用し、保管場所に戻しましょう。
- ・その週の給食最終日に持ち帰り、洗濯して翌週に必ず持ってきましょう。
- ・白衣を忘れた場合は・・・

その日の4時間目までに忘れた人が職員室へ行き、貸し白衣を借りて次の当番に渡しましょう。忘れた白衣は、その週の間、必ず返却しましょう。

(※貸し白衣は洗濯後、職員室へ返却しましょう)

- ② 給食当番以外の方は、手洗い・消毒をして待ちましょう。
- ③ 号令係は、全員が揃ってから「いただきます」の号令をしましょう。
- ④ 給食を早く食べ終わっても「ごちそうさま」の号令(4時間目終了後30分)までは、片付け以外、自分の座席で静かに待ちましょう。
- ⑤ 給食当番の方は、食器や残菜の片付けがきちんとできているかチェックして、配ぜん室に返却して、ゴミの分別を手伝いましょう。



<学校のルールを確認しよう!>



1 服装・身だしなみについて

ブレザー	・原則、ボタンを留める。
ポロシャツ	・学校指定の物に限る。
ズボン	・ベルトを着用し、下げすぎない。
スカート	・裾は膝上までとする。(腰の所で折らない)
下靴	・運動に適した靴であること。(マジックテープも可)
上靴	・学校指定のサンダルを着用。
靴下	・白・黒・紺・グレー・ベージュ・茶を基調としたもの。
インナー	・色は白・黒・紺・グレー・ベージュ・茶のみ。 裾はズボン・スカートの中に入れる。 ※ハイネックは禁止する。無地およびワンポイントのみ可。
ベスト セーター・カーディガン	・年中着用を認める。(夏場の熱中症に気をつける) ・色は黒・紺・グレー・ベージュ・白・茶の無地のもの。
頭髪	・身だしなみを整える。(何かを使うときは、無香料のものは可) ・家庭の判断で「縮毛矯正」のみ可。

禁止事項・・・染髪、ピアス、不自然な頭髪加工など、学校生活にふさわしくないもの

2 防寒具について

次の①～④の防寒具については、原則9月中旬～着用・使用を認める。

※気候などの状況に応じて、着用許可時期については事前に学級で連絡します。

① アウター

□登下校時及び体育の見学の際にアウターの着用を認める。色は特に指定しない。

また、ウインドブレーカー(体育規定に準じる)の着用も認める。色は黒・紺・白を基調とし、華美でないものとする。(ワンポイント・ラインは可) 教室入室後は着用不可。

□必ずブレザーの上または体操服の上に着ること。ブレザー・体操服を着ずに着用しない。

② ブランケット

□教室のみ使用可とする。(登下校及び廊下、屋外での使用は不可)

③ セーター・カーディガン

□ブレザーの下に、学校指定のベスト以外にセーター・カーディガンの着用を認める。

色は黒・紺・グレー・ベージュ・白・茶の無地のものとする。

□エアコン使用時の教室において、ブレザーを脱いでセーター等で授業を受けても構わない。

ただし、セーター・カーディガンでは教室から出ない。(教室を出る際にはブレザーを着用する)

④ タイツ・スパッツ

□色は黒・紺の無地とする。

3 体育時の服装

- 学校指定のジャージ上下およびハーフパンツを着用する。
- 半そでのシャツは、「白色」「紺色」の無地もしくはワンポイント入り、または学校指定のものとする。
- ウインドブレーカーについては、黒・紺・白を基調とし、華美でないものとする。(ワンポイント・ラインは可)
※1年生には、学校(体育科)から9月下旬～10月上旬に案内します。
- 冬季(原則10月～3月末)は、スパッツ等の着用を可とする。ただし、靴下をはくこと。
※靴下は学校のルールに準じる。

4 衣替えの時期について

- 衣替えの時期および移行期間については、特に規定しない。
- 夏服・冬服共に制服であるので、気候や体調を考慮して個人で選択して着用するものとする。

5 式関係(※講演会はふくまない)・入試関係の身だしなみについて

- 男女ともシャツやブレザーのボタンをきちんと閉め、シャツを入れ、スカート丈を折らない等、最も正しい着こなし方を心がける。靴下は白・黒・紺。タイツ・スパッツも可とする。カーディガン等は気候に応じて可。体育館シューズは白・黒を基調とした華美でないものが望ましい。

6 持ち物について

- カバン
教科の持ち物が十分に入る大きさで、取っ手のあるもの、口が閉まるもの、紙製でないもの、高価でないものとする。
- 不要物(学校生活に不要な物)や高価なものは持ってこない。
※発見時は、事実の確認・指導したのち、一時預かります。担任から指導と共に、保護者に連絡、返却します。
- 携帯電話等について
通学等の理由で必要な場合は、必ず事前に保護者からの連絡が必要です。
突然の事情で持ってこなければならない時は、生徒手帳か電話で必ず連絡しましょう。
- その他
熱中症予防を目的として、校外に限り、うちわや扇子、小型扇風機の使用を可とします。ただし、できる限りの熱中症予防をしましょう。また、バス内は使用不可とし、保管については自己管理とします。

**携帯電話等の貴重品は、登校後すぐに職員室の学年の先生に預け、
下校前に職員室へ取りに行きましょう。**

7 職員室の入室について



◎ 職員室に用事のある場合は、以下の手順で!!

□ 身だしなみを整え、大きな声で(ボタンを留め、かばんを下ろして)

(3回ノックをしてからドアを開ける)

「失礼します。」

「○年の●●です。○○先生はおられますか。」

「(・・・用件を伝える・・・)」

(用件が終われば)

「失礼しました。」(ドアを閉める)

□ 職員室の中へは入らない。必ず階段側の入口から用件を伝える。

一人一人の意識で、学校生活はより良いものになります。
そして、みんなが気持ちよく過ごせるように行動することが大切です。
また、この冊子をいつでも確認できるように保管しておきましょう。

「何のためにこのルールがあるのか」

一人一人が考え続けることで、「笠置中学校のルール」は価値のあるものになります。